

禁煙科学 最近のエビデンス 2024/01

さいたま市立病院館野博喜
Email:Hrk06tateno@aol.com

本シリーズでは、最近の禁煙科学に関する医学情報を要約して紹介しています。医学論文や学会発表等から有用と思われたものを、あくまで私的ではありますが選別し、医療専門職以外の方々にも読みやすい形で提供することを目的としています。より詳細な内容につきましては、

目次

KKE332 「医学生による入院中から退院後2か月までの禁煙カウンセリングは
禁煙率を高め医学生の知識も高める：インドのRCT」

KKE332

「医学生による入院中から退院後2か月までの禁煙カウンセリングは 禁煙率を高め医学生の知識も高める：インドのRCT」

Priyanka Satish等、J Gen Intern Med. 2023 Nov;38(14):3162-317. PMID: 37286774

<https://link.springer.com/article/10.1007/s11606-023-08243-y>

- インドは中国に次いで喫煙人口が多く、2016年には9,900万人と推定される。
- 入院は多くの人にとって人生の一大イベントであり、入院中に禁煙カウンセリングを受けて、退院後も月1回以上受けると最も効果が高いとされる。
- 一方、マンパワーや費用の面から中低所得国での実現は難しい。
- またインドの医師は、適切な禁煙カウンセリングの訓練を受けていないとも報告されている。
- インドの医学部教育は5年半あるが、以前はタバコ使用について教科書的指導にとどまり、体験学習はほとんど行われていなかった。
- 2019年に医学教育のガイドラインが変更になり、医学生には「患者と禁煙について適切に、説明し、話し合い、カウンセリングする」ことが求められた。
- しかし実現するためには複数の障壁があり、患者への効果を検証されたカリキュラムもない。
- 今回、入院患者に医学生が禁煙カウンセリングを行い、患者の禁煙率が高まるか、医学生の知識が高まるか、検証した。
- 非盲検並列2群間のRCTを行い、患者を無作為に1:1で割り付けた。
- 2018年12月から2020年11月までインドの3施設で行われた。
- 対象は18-70歳の入院患者で、紙巻やビディの現喫煙者とした。
- 毎日飲酒やドラッグを使用する者、遠方で通院が困難な者は除いた。
- 臨床実習を回る医学部2年生の希望者が参加した。
- 医学生のトレーニングは、WHOの禁煙カウンセラーのためのガイドを参考に、第3著者が行った：3時間の講義、2時間の集団ロールプレイと同級生・監督者からのフィードバック、試用期間での対話型補足セッション、である。
- その後、知識と考え方について15問のテストを受け、4割以上の得点をとった学生だけが患者カウンセリングに進んだ（84人）。
- このテストは6週後と12か月後にも行い知識の変化をみた。

- 患者は、総合診療科、呼吸器科、循環器科の入院患者688人で、介入群の343人が個々の医学生に割り振られた。
- 入院中に1回、学生が対面式のカウンセリングを行った（個室で15-20分）。
- 禁煙補助薬（NRT）の推奨はできたが処方ができず、患者が処方箋を希望したり市販のNRTを購入することはできた。
- 退院後の2か月間に、医学生が3-5回、15分程度の電話カウンセリングを行った。
- 医学生は初回のトレーニングから6週後に、TV電話で監督者（第3著者）と面談し、基本的概念のおさらいと臨床場面の討議が行われた。
- 対照群の患者については、通常のケアを反映するように、禁煙のアドバイスやNRT処方は担当医の裁量に任された。
- 主要評価項目は当初、6か月後の呼気CO<10ppmで確認した7日間禁煙率としたが、Covid-19の蔓延で検査や組み入れも難しくなり、自己申告での判定とした。
- 副次評価項目は、12か月後の医学生の知識の変化とした。
- 検出力85%、有意水準5%、対照群の禁煙率20%、介入群が+10%、脱落率20%と推定し、必要患者数を830人と算出した。
- 主要評価項目はITT解析により、単変量階層ロジスティック回帰を用いて解析し、同様に介入完遂者（電話カウンセリング3回以上施行）のみのPPA解析も行った。
- また年齢、FTND、入院病名、医学生のテスト得点、過去の禁煙経験、によるサブグループ解析を行った。
- 患者の48%は循環器呼吸器疾患で入院していた。
- 平均年齢51.8±11.5歳、男性が99.4%、1日平均喫煙本数8±7.9本、平均FTND 4±2.2、55%の患者は過去に禁煙したことがなく、無煙タバコの使用率は1割未満と少なかった。
- 6か月後の禁煙率は、介入群が54.8%と、対照群の42.0%より有意に高かった（相対リスクRR 1.67、95%CI 1.24-2.26、p<0.001）。
- 介入群では退院後、67.9%が1回以上電話カウンセリングを受け、39.1%が3回以上受けた。
- この介入完遂者の禁煙率は67.9%だった（RR 1.72、1.72-4.46、p<0.001）。
- サブグループ解析で介入群の禁煙率が高かったのは、50歳以上、循環器呼吸器疾患以外での入院（胃腸/肝疾患、感染症、癌など）、過去の禁煙歴なし、の患者だった。
- 禁煙補助薬の使用は両群とも少なかった。
- 医学生の得点は、当初が平均14.8±0.8点（25点満点）、12か月後が18.1±0.8点で有意に上昇した（絶対差 3.3、95%CI 2.3-4.3、p<0.001）。
- 医学生のトレーニングは禁煙介入能力を高める。

<選者コメント>

能登半島地震で被害に遭われた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。遅ればせながら本年もよろしくお願ひ致します。

インドから、医学生に禁煙カウンセリングのトレーニングを行い支援させると、半年後の禁煙率が高まるとする報告です。

医学部2年生の臨床実習で希望者にトレーニングを行い、学生1人あたり4人の入院患者にカウンセリングと、退院後2か月間に3-5回の電話カウンセリングをさせました。

トレーニングは講義やロールプレイからなり、本邦の標準手順書に勝るとも劣らないような内容を学習さ

せています(原著の補遺参照)。さらに監督者からのフィードバックも与えられ、効果的な体験学習になったものと思われます。介入群の禁煙率は対照群の42%よりも12%高い54.8%となり、また学生の禁煙カウンセリングに関する知識も1年後まで経時的に上昇しました。

日本の医学教育においても、禁煙支援の教育を推進する上で、参考になる報告と思われます。

<高橋裕子先生からのコメント>

インドでの、医学生による入院中+退院後の禁煙カウンセリングによる禁煙成果と医学生の知識量の増加を見ています。医学教育の中に禁煙カウンセリングの習得と実技を導入することは重要かつ意義深い取組であり、世界中にこの取組が広がることを希望します。

なお入院患者の禁煙成果に関しては、禁煙補助薬を使用したのはわずかであったにもかかわらず、6か月後の禁煙率は、介入群が54.8%、対照群の42.0%という高さであり、平均FTNDが4±2.2と低いことや55%の患者は過去に禁煙したことがないなど、現在の日本の状況とは異なると思われます。

<その他の最近の報告>

KKE332a 「うつ病喫煙者175人の偽薬対照試験ではバレニクリン投与群は偽薬群より3倍真薬と認識しており禁煙の成功と関連している：米国」

Robert Schnoll等、Nicotine Tob Res. 2023 Nov 2;ntad218. PMID: 37934573

KKE332b 「受動喫煙が増えると遺伝素因による肺腺癌発症リスクが倍化する：台湾女性の症例対照研究」

Batel Blechter等、JAMA Netw Open. 2023 Nov 1;6(11):e2339254. PMID: 37955902

KKE332c 「禁煙者では屋内PM2.5曝露が少なく肺機能が下がりにくいのが現喫煙者では下がる」

Nadia N Hansel等、Am J Respir Crit Care Med. 2023 Nov 15;208(10):1042-1051. PMID: 37523421

KKE332d 「タバコ販売店を薬局だけにすれば供給が減り禁煙支援も受けられるとする案はニュージーランドの恵まれない地域の薬剤師には不人気：質的研究」

Janet Hoek等、Tob Control. 2023 Nov 8;tc-2023-058126. PMID: 37940403

KKE332e 「青少年の電子タバコ使用を防止・中止する介入に関するコクランレビュー」

Courtney Barnes等、Cochrane Database Syst Rev. 2023 Nov 15;11(11):CD015511. PMID: 37965949

KKE332f 「喫煙はB型肝炎の肝癌リスクを20倍、C型肝炎で25倍、B+Cで30倍に高める：メタ解析」

Yahya Shadi等、J Public Health (Oxf). 2023 Nov 2;fdad214. PMID: 37934962

KKE332g 「喫煙は結核の再発を2.1倍高める：メタ解析」

Fatemeh Pournali等、Indian J Tuberc. 2023 Oct;70(4):475-482. PMID: 37968054

KKE332h 「肺年齢を含めた呼吸機能検査をカウンセリングに加えると1年禁煙率を高める：スペイン600人のRCT」

Francisco Martín-Luján等、Eur J Gen Pract. 2023 Dec;29(1):2276764. PMID: 37933978

KKE332i 「うつが強いと禁煙介入による報酬学習が弱まる：300人のRCT」

Jacqueline K Gollan等、Nicotine Tob Res. 2023 Nov 7;ntad2216. PMID: 37943674

KKE332j 「市井における専門的禁煙治療促進介入は禁煙補助薬の処方率を高めた：米国」

Lindsay R Meredith等、J Addict Med. 2023 Nov-Dec;17(6):677-684. PMID: 37934530

KKE332k 「ナノクルクミンはNOやCRPを改善するがニコチン依存は改善しない：イランの小規模RCT」

Peyman Mamsharifi等、Heliyon. 2023 Oct 27;9(11):e21249. PMID: 37954269

KKE332l 「環境タバコ煙と小児の健康に関する最頻引用100文献の解析」

Sneha S Patil等、BMC Public Health. 2023 Nov 9;23(1):2208. PMID: 37946187

- KKE332m 「加熱式タバコを紙巻と比較した論文の65%はタバコ産業発でその大半は害低減を結論付けている：系統的レビュー（日本）」
Harumitsu Suzuki等、Nicotine Tob Res. 2023 Nov 10:ntad205. PMID: 37950902
- KKE332n 「妊娠中の喫煙が胎児の腎形成に与える影響に関する系統的レビュー」
Kelsey Popham等、J Dev Orig Health Dis. 2023 Oct;14(5):559-569. PMID: 37969035
- KKE332o 「喫煙量・禁煙期間と虚血性心疾患・肺癌を含めた死亡率の関連：ノルウェー40代36万人の33年間コホート」
Aage Tverdal等、Tob Control. 2023 Nov 14:tc-2023-057977. PMID: 37963773
- KKE332p 「糖尿や予備群の喫煙者では膀胱リスクが相乗的に増加し禁煙で減る：韓国1千万人9年間コホート」
Joo-Hyun Park等、J Natl Compr Canc Netw. 2023 Nov;21(11):1149-1155. e3. PMID: 37935099
- KKE332q 「親の喫煙は子の喫煙・飲酒・薬物使用を増やし禁煙は減らし9歳時より13歳での曝露がより強く関連する：アイルランドのコホート」
Salome Sunday等、Sci Rep. 2023 Nov 16;13(1):20105. PMID: 37973812
- KKE332r 「1997年以降米国24歳以下の喫煙率は減り続けており2017-18年の未成年電子タバコ使用者の増加とは無関係」
John P Pierce等、Tob Control. 2023 Nov 8:tc-2022-057907. PMID: 37940404
- KKE332s 「日に家族と一緒に食事を摂る回数が多い人ほど喫煙率が低い：韓国の横断調査」
Gun Hee Cho等、BMC Public Health. 2023 Nov 16;23(1):2261. PMID: 37974130
- KKE332t 「電話禁煙相談の会話をもとにスマホ禁煙チャットボット”Quin”を開発した：豪州」
Hollie Bendotti等、Nicotine Tob Res. 2023 Nov 4:ntad217. PMID: 37936253
- KKE332u 「癌患者が禁煙すると3か月で千ドルの医療費削減になる：米国」
George Kyriotakis等、Cancer Prev Res (Phila). 2023 Nov 8. PMID: 37940143
- KKE332v 「店頭でタバコ広告（とくに割引の）を見ると喫煙欲求が高まる：米国280人のネット実験」
Mary Andrews等、Tob Control. 2023 Nov 10:tc-2023-058069. PMID: 37949653
- KKE332w 「禁煙に働く遺伝子が少ないと現喫煙が多く社会的孤立の割合が多い：英国人コホートのメンデル化無作為研究」
Yusuke Matsuyama等、Am J Epidemiol. 2023 Nov 17:kwad229. PMID: 37981720
- KKE332x 「タバコ規制推進派が晒されている嫌がらせに関する質的研究」
Britta K Matthes等、Global Health. 2023 Nov 16;19(1):88. PMID: 37974216
- KKE332y 「非燃焼の加熱式水タバコがハームリダクションを謳い文句に登場している」
Ziyad Ben Taleb等、Tob Control. 2023 Nov 14:tc-2023-058188. PMID: 37963772
- KKE332z 「加熱式タバコを使用する成人にはアレルギー性鼻炎が多い：韓国1.8万人の横断調査」
Young-Gyun Seo等、Tob Induc Dis. 2023 Nov 9:21:146. PMID: 37954489
- KKE332aa 「加熱式タバコの警告表示に9割の使用者が気づいているが使用に懸念を持ったのは3割未満：米国とイスラエルの横断調査」
Zongshuan Duan等、Isr J Health Policy Res. 2023 Nov 13;12(1):33. PMID: 37957696
- KKE332ab 「紙巻や新型タバコ喫煙者の尿中メルカプト酸の比較」
Gerhard Scherer等、Drug Test Anal. 2023 Oct;15(10):1107-1126. PMID: 36164275
- KKE332ac 「リトルシガー煙の肺葉沈着部位の違い：ネズミの実験」
Kaisen Lin等、Part Fibre Toxicol. 2023 Nov 6;20(1):42. PMID: 37932763